

製品安全データシート

作成日：2015年07月30日

改訂日：2026年01月06日

確認日：2026年01月06日

1. 化学品及び会社情報

製品名 [構成品名]	HISCL KL-6 試薬 [HISCL KL-6 R1 試薬、HISCL KL-6 R2 試薬、 HISCL KL-6 R3 試薬]
供給者の会社名称、住所及び電話番号	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL：(078) 991-1911 078-991-1911
緊急連絡電話番号	078-991-1911
推奨用途	臨床検査測定用
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する。

[HISCL KL-6 R1 試薬、HISCL KL-6 R2 試薬、HISCL KL-6 R3 試薬]共通

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類	
物理化学的危険性	区分に該当しない
健康に対する有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	区分に該当しない
GHS ラベル要素	
絵表示	該当しない
注意喚起語	該当しない
危険有害性情報	該当しない
注意書き	
安全対策	該当しない
応急措置	該当しない
保管	該当しない
廃棄	該当しない
GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない	成分のアジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応し
他の有害危険性	て爆発性の化合物を生成する危険性がある。

[HISCL KL-6 R1 試薬]

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の區別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲 (%)	官報公示整理番号		CAS 登録番号
		化審法番号	安衛法番号	
アジ化ナトリウム	<0.1	(1)-482	既存化学物質	26628-22-8
オクタメチルシクロテトラシロキサン	<0.1	(7)-475	既存化学物質	556-67-2
デカメチルシクロペンタシロキサン	<0.1	(7)-475	既存化学物質	541-02-6
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	<0.1	(7)-475	既存化学物質	540-97-6

本品にはアジ化ナトリウムが含まれていますが、法的には毒物として取扱われません。

[HISCL KL-6 R2 試薬、HISCL KL-6 R3 試薬]共通

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の區別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲 (%)	官報公示整理番号		CAS 登録番号
		化審法番号	安衛法番号	
塩化亜鉛	<0.1	(1)-264	既存化学物質	7646-85-7
アジ化ナトリウム	<0.1	(1)-482	既存化学物質	26628-22-8
オクタメチルシクロテトラシロキサン	<0.1	(7)-475	既存化学物質	556-67-2
デカメチルシクロペンタシロキサン	<0.1	(7)-475	既存化学物質	541-02-6
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	<0.1	(7)-475	既存化学物質	540-97-6

本品にはアジ化ナトリウムが含まれていますが、法的には毒物として取扱われません。

[HISCL KL-6 R1 試薬、HISCL KL-6 R2 試薬、HISCL KL-6 R3 試薬]共通

4. 応急措置

必要な応急処置の説明

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

必要なら医師の診断を受ける。

接触部位を水と石鹼でよく洗う。かゆみ、炎症等の症状が出た場合は速やかに医師の診断を受ける。

清浄な流水で、充分に洗眼し、必要なら眼科医の診断

飲み込んだ場合	を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	水でよく口中を洗浄し、必要なら医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	情報なし 特に必要ない

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、乾燥砂、霧状水
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	当該製品は火災時に構成成分由来の刺激性もしくは有毒なヒューム（またはガス）を放出する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	当該製品の燃焼ガスには、一酸化炭素などの他、構成成分由来の窒素酸化物系あるいはリン酸化物系、硫黄酸化物系、ハロゲン酸化物系のガスなどの有毒ガスが含まれることがあるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	水拭き後、消毒用アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウム液等で拭き取る。人体への措置は特に必要ない。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合、吸着剤（土・砂・ウエスなど）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。 多量の水で洗い流す。 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。 砂や土を使用して漏出の拡大を防ぐ。 漏出物を回収すること。 大規模漏出の場合、漏出区域より直ちに職員を退避させる。 漏出区域を換気する。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。 滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、

製品の拡散を避ける。

漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	正しく測定するために添付文書をお読みください。
安全取扱注意事項	作業所の十分な換気を確保する。
	適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面を着用すること。
衛生対策	取扱い後は手などをよく洗うこと。
保管	
安全な保管条件	冷所（2～8°C）で密栓して保管する（凍結禁止）。
安全な容器包装材料	情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

[HISCL KL-6 R1 試薬]

成分名	管理濃度	厚生労働大臣が定める濃度の基準		許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
		8時間濃度基準値	短時間濃度基準値/濃度基準値（天井値）		
アジ化ナトリウム	未設定	未設定	未設定	未設定	設定あり (ACGIH 2025)

・「厚生労働大臣が定める濃度の基準」が「※」であるものは、発がん性が明確であるため、長期的な健康影響が生じない安全な閾値としての濃度基準値を設定できない物質である。事業者は、この物質に労働者がばく露される程度を最小限度にしなければならない。

・許容濃度（ACGIH）：「設定あり」の場合は右記を参照（参照先）<https://www.acgih.org/>

[HISCL KL-6 R2 試薬、HISCL KL-6 R3 試薬]共通

成分名	管理濃度	厚生労働大臣が定める濃度の基準	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
-----	------	-----------------	------------	-------------

		8 時間濃度基準値	短時間濃度基準値/濃度基準値 (天井値)		
塩化亜鉛	未設定	未設定	未設定	最大許容濃度：4 mg/m ³ 暫定値 (許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 卷)	設定あり (ACGIH 2025)
アジ化ナトリウム	未設定	未設定	未設定	未設定	設定あり (ACGIH 2025)

- ・「厚生労働大臣が定める濃度の基準」が「※」であるものは、発がん性が明確であるため、長期的な健康影響が生じない安全な閾値としての濃度基準値を設定できない物質である。事業者は、この物質に労働者がばく露される程度を最小限度にしなければならない。
- ・許容濃度 (ACGIH)：「設定あり」の場合は右記を参照 (参照先) <https://www.acgih.org/>

[HISCL KL-6 R1 試薬、HISCL KL-6 R2 試薬、HISCL KL-6 R3 試薬]共通

設備対策	取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	特に必要ない
手・皮膚の保護具	保護手袋
眼、顔面の保護具	保護眼鏡
特別な注意事項	保護衣など

9.物理的及び化学的性質

物理状態	液体 [HISCL KL-6 試薬 R1 試薬、HISCL KL-6 試薬 R3 試薬] 液体 (懸濁液) [HISCL KL-6 試薬 R2 試薬]
色	無色～淡黄白色澄明 [HISCL KL-6 R1 試薬、HISCL KL-6 R3 試薬] 褐色 [HISCL KL-6 R2 試薬]
臭い	無臭

融点／凝固点	データなし
沸点又は初溜点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	不明
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	6.5
動粘性率	データなし
溶解度	水に易溶
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	約 1.0
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持続性)	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	
化学的安定性	通常の取扱いで安定。試薬としての安定性は添付文書をお読みください。
危険有害反応可能性	成分のアジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性の化合物を生成する危険性がある。
避けるべき条件	金属、鉛、銅との長時間の接触
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	燃焼や熱分解により、一酸化炭素、二酸化炭素、硫黄酸化物系などの危険有害なガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	NaN ₃ 純物質として：ラット／経口 LD ₅₀ 27 mg/kg
経皮	分類できない
吸入	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない

発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
誤えん有害性	分類できない
その他の情報	分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性、短期(急性)	情報なし
水生環境有害性、長期(慢性)	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし
その他の有害性	情報なし

13. 廃棄上の注意

化学品（残余廃棄物）当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
残余廃棄物	水質汚濁防止法等の規制及び各都道府県の条例等に留意して処理してください。
付着している汚染容器及び包装	行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。

14. 輸送上の注意

国際規制	
航空規制情報（ICAO/IATA）	輸送危険物には該当しない
国連番号	非該当
品名（国連輸送名）	非該当
国連分類（危険有害性クラス）	非該当
容器等級	非該当
海上規制情報（IMO）	輸送危険物には該当しない
国連番号	非該当
品名（国連輸送名）	非該当
国連分類（危険有害性クラス）	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当

MARPOL73/78 付属書 II 及び IBC コードによる ばら積み輸送される液体物質 国内規制 航空規制情報 海上規制情報 陸上規制情報 輸送又は輸送手段に関する特別の安全策	非該当 輸送危険物には該当しない 輸送危険物には該当しない 輸送危険物には該当しない 容器、包装に漏れのないことを確認し、転倒、落下、 損傷を来さず、横倒しないよう積み込み、荷崩れ防止 を確実に行ってください。
---	---

15. 適用法令

薬機法	体外診断用医薬品
安衛法	非該当
化管法	非該当
毒劇法	非該当
化審法	該当：オクタメチルシクロテトラシロキサン(監視化学物質、官報整理番号 7-475) ドデカメチルシクロヘキサシロキサン (監視化学物質、官報整理番号 7-475)
水質汚濁防止法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法(危険物船舶運送及び貯蔵規則)	非該当
消防法	非該当
スイス連邦法 振発性有機化合物の特別税法	非該当

16. その他の情報

その他の情報	本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。 ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。
略語	ACGIH : アメリカ合衆国産業衛生専門官会議(American Conference of Governmental Industrial Hygienists) ICAO : 国際民間航空機関(International Civil Aviation Organization) IATA : 国際航空運送協会(International Air Transport Association) IMO : 国際海事機関(International Maritime Organization) IBC コード : 国際バルクケミカルコード(International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying

Dangerous Chemicals in Bulk)

薬機法：医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

安衛法：労働安全衛生法

化管法：化学物質排出把握管理促進法

毒劇法：毒物及び劇物取締法

化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

NITE：独立行政法人製品評価技術基盤機構(National Institute of Technology and Evaluation)

データの主要な文献参照と出典

NITE GHS 分類公表データ